

別府湾・日出断層群はどうやって形成されたか？

How formed the Hiji-oki fault group in the beppu bay, Japan?

*原口 強¹、竹村 恵二²

*Tsuyoshi Haraguchi¹, Keiji Takemura²

1. 大阪市立大学大学院理学研究科、2. 京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設

1. Department of Geosciences, Graduate School of Science, Osaka City University, 2. Graduate School of Science, Kyoto University

別府湾内では、浅海底音波探査によって明瞭な断層が確認されてきた。断層を挟んだ地層の年代対比から、断層の活動履歴も明らかにされてきた。日出沖断層群はその典型で、短い正断層群から構成されている。ところが断層直下の深部反射面は、断層で途切れることなく連続している。断層の変位は、地下へ連続しないのである。そのメカニズム解明のために、断層を横切る延長10 km以上の連続する音波探査を実施した。連続断面には、引張部と圧縮部を示す構造が確認された。この構造は、浅部の地層だけが動いた時に出来る現象である。すなわち、断層は、幅4km、長さ8km、厚さ60m程度の軟弱泥層が側方移動した際、引張域に生じたLateral-spread grabenであった。このような理由から、日出沖断層群は震源断層に連続する断層とすることはできない。

キーワード：別府湾、日出沖断層群、側方移動型地溝

Keywords: beppu bay, Hiji-oki fault group, Lateral-spread graben

